

What's up,



OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分!)

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol. 62》2018年4月発行

なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～ 【宇佐市／豊後大野市】



(宇佐市)
余の滝



(宇佐市)
安心院ワイン



(豊後大野市)
朝倉文夫記念館



(豊後大野市)
道の駅原尻の滝

平成30年度 国際政策課国際政策班のご紹介

世界で活躍する大分県関係者の皆さまに、今年度の国際政策班メンバーをご紹介します。
どうぞお気軽にご連絡ください！

課長 徳野 満



課長2年目として、次期海外戦略の策定や積極的に海外での大分のPRに努めてまいります。皆様もぜひ海外の友人・知人に大分情報を広めてください。

主幹(総括) 山口 淳史



班総括として2年目になります。昨年度は台湾、ベトナムの県人会の皆様にはたいへんお世話になりました。今年度も多くの皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

主幹 眞名井 哲也



今年度は大分県海外戦略、大分県アジアビジネス研究会を担当します。よろしくお願いいたします。

副主幹 白岩 賢一



初めての国際政策課勤務です。ブラジルなど中南米の県人会に関すること、また、留学生の就職・起業支援を担当します。一生懸命がんばりますので、よろしくお願いいたします！

副主幹 藤原 由博



はじめまして、3月まで3年間上海事務所に駐在しておりましたが、4月から国際政策課勤務になりました。課の予算や台中花博覧会を担当します。どうぞよろしくお願いいたします。

主査 林 孝憲



世界温泉地サミットやトビタテ！留学Japan、海外プロモーションを担当します。世界中で「おおいた」を知ってもらえるようにがんばります！

主任 佐藤 佳香



国際政策課へ2年ぶりに戻ってまいりました。6月からは3ヶ月間イギリス研修に行きます。出張の際などは、皆様にお世話になるとは思いますが、よろしくお願いいたします。

主事 小野 かな子



留学生OBや海外県人会とのネットワーク作りを主に担当します。皆様にご協力をお願いすることが多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

今年度は、成長著しいアセアン地域において、大分県のビジネスネットワークを強化するため、現地で活躍する留学生OBの皆さんとの交流や意見交換を予定しています。

また、今年11月から台湾台中市で開催される台中花博への出展や訪問団の派遣を通じて大分県をPRします。

大分国際交流プラザ 主な平成30年度事業のご紹介

おおいた国際交流プラザ運営の3つの柱に沿った主要事業をご紹介します。

- ① 県民と在住・来県外国人に開かれた国際交流の拠点づくり
 - 県国際交流員を活用した「FREE TALK CLASS」(4月～)
 - 来年開催されるワールドカップラグビー県内対戦国の紹介をテーマとする国際理解講座(5月～)
 - 本年秋に本県で開催される国民文化祭に協賛して「世界の大茶会(仮称)」(10月)
 - 大分国際車いすマラソン大会に協賛して「日本文化体験講座」(11月)
- ② 在住外国人の生活支援及び県民と在住外国人へ情報発信
 - 地域日本語学習の支援(4月～)
 - 災害対応等の通訳・翻訳ボランティアのスキルアップ講座(5月～)
 - 外国人無料生活相談(4月～)
 - 多言語メールの発信と情報紙誌の発行(4月～)
- ③ 国内外の国際交流団体と協力
 - 県内の市町村国際交流協会・国際交流団体との連携・支援(4月～)
 - 韓国文化芸術系団体との交流(5月)
 - ウェールズ・カメルーン・中国・ベトナム・ペルー外交使節の来県対応(4月～)



【おおいた国際交流プラザ】

第4回アジアビジネス研究会を開催しました

3月16日に、第4回大分県アジアビジネス研究会をホルトホール大分で開催しました。

今回は、「ベトナムにおける今後の企業展開や貿易動向について」をテーマに、ジェトロ本部から、ハノイ駐在経験が長く、現在海外調査部アジア大洋州課でご活躍の小林恵介様を講師にお迎えしました。

日系企業の進出状況や南北のマーケットの違い、労務課題や、庶民の生活水準など、濃い内容の勉強会となりました。2040年には人口が日本と同じくらいになるベトナム、これから様々な分野でのビジネスチャンスに期待されます。



県国際交流員の張 鵬さん(中国)が離任します



めじろん海外特派員として、今後ますますのご活躍を期待しています！



「出会えば必ずお別れがあり」、あっという間にまた桜が咲く時期を迎えたので、国際交流員としてお別れのご挨拶をさせていただきます。去年の4月に九州への好奇心と仕事への不安を抱きながら、大分県に赴任しました。この一年間で、たくさんの方々に変にお世話になり、無事に任期を終えることができましたので、ここで改めて感謝の気持ちを申し上げます。

大分での一年間は翻訳・通訳をはじめ、海外PR事業、学校訪問、県民文化講座など幅広い分野で大分県の一職員として励んでまいりました。一外国人として大分県に入庁させていただき、最初は業務の仕方やカルチャーショックに戸惑い、トラブルもありましたが、同僚たちにいろいろ教えていただきながら様々な仕事上の難関を乗り越え、とてもいい勉強になりました。

大分県は温泉の源泉数と湧出量の二つの「日本一」を持ち、私は休みの日に県内の各温泉地を訪問し、山の幸と海の幸を満喫しながら大分県への理解をますます深めました。大分での一年間は私にとってかけがえのない一年となりました。国に帰っても日中両国の友好交流の掛け橋となって、引き続き大分の発展に貢献するよう努力していきたいと思っております。

卒業する留学生2名をめじろん海外特派員に任命しました

前ページの張 鵬さんに加え、この春卒業を迎えた留学生2名も「めじろん海外特派員」に任命しました。お二人とも、大分県私費留学生奨学金を受給され、大分県講座やスタディツアー等を通じて大分県への理解を深めてきました。これからのご活躍に多いに期待しています！



チャリサー チントラカーンさん
タイ出身 APU卒業



大分県にいる間、私はいつも大分県の人々と文化交流を通じて話していました。最も印象的なのは、他県に比べ、大分県の人々が外国人にオープンマインドだったことです。おかげで、その文化交流も成功しました。

これからいかに大分県のPRをしていくかという点、まず、前述の通り、大分県の人々が外国人にオープンな人柄の方が多いです。イギリスの大学院で勉強する中で、大学院でタイ人の人たちも含めた様々な国の友達、教授に対し、このことを伝えたいです。更に、大分県に存在中、私は大分県の多くの場所を訪れました。最も好きな場所が「オリエンタル・ナイアガラの滝」と呼ばれる原尻の滝です。大分県のPRとして大分県には温泉のみならず、ナイアガラの滝と似ている滝もあることをまわりの人にアピールしたいです。

最後に、大分県には美味しい食べ物やカフェが多くあると思います。最近、本格的な和食を食べに来日するタイ人が多数おり、またタイではカフェ巡りが流行っています。そのため、タイ人に大分県のPRをすると、食べ物やカフェのことを話すことは不可欠だと考えられます。これから、めじろん海外特派員として、ますますPRを頑張っていきます。



レ ギョク ハさん
ベトナム出身 APU卒業



私は日本へ来る前、東京と大阪などの大都市しか知りませんでした。なので、大分県で4年間に留学すると考えた時、ちょっと寂しく感じました。しかし、実際に大分県での留学生生活を体験してみると、大分県で良かったと心から思っています。私の大学は山の上にありますので、そこから見下ろす別府市の風景は本当に素晴らしいです。さらに、別府市から簡単に大分県他の美しい街へ旅行できました。杵築で着物体験をして、大分県の酒産業を学んで、日本の文化を深く理解できました。また、私は大分県の食べ物が好きです。唐揚げとシーフードがとても美味しいです。時々、大学での勉強で多くのストレスが溜まった時、鉄輪温泉へ行って、不安を晴らせることで、とても良い気分になりました。別府で、色々な地域交流イベントに参加できましたが、ベトナム文化を紹介できただけでなく、地域の皆様と話せたおかげで、日本的な生活とマインドセットを深く理解できました。それだけではなく、私は大分県でインターンシップをするきっかけをいただきました。インターンシップでは、日本的なビジネスマナーを学び、また個人間のコミュニケーション能力を広げられたと思います。大分県では色々な企業が海外人材を求めていることから、留学生の皆さんは就職とインターンシップの機会に恵まれると思います。4月からはベトナムへ帰って、大分県での留学生活で得たものを活かし、人生の新しいエピソードを作っていきます！

世界温泉地サミット関連イベントをご紹介します

5月25日～27日に別府市で開催する「おんせん県おおいた」世界温泉地サミットの雰囲気を一般の皆さまにも感じていただける、関連イベントを以下のとおり予定していますので、ぜひご参加ください！！

《世界温泉地観光物産展》

サミット参加国や国内参加自治体等の特産品販売や飲食、観光PRの各ブースを展開するほか、ステージイベントも予定しています。

日時：5月26日(土)～27日(日) いずれも11:00～17:00 ※入場無料

場所：ビーコンプラザ コンベンションホール(別府市山の手町12番1号)

《ONSEN・ガストロミーウォーキング》

温泉地ならではの美味しい食べ物・お酒を「食べて(飲んで)」、地域の豊かな自然・歴史文化を「めぐって」、そして温泉に「つかって」を体感できる、「ONSEN・ガストロミーウォーキング」をサミット期間中に別府市・中津市の2カ所で開催します。

【ONSEN・ガストロミーウォーキングin別府】

開催日：5月26日(土)

場 所：明礬温泉～鉄輪温泉(地獄蒸しなど温泉地別府ならではの食や景観が楽しめるコース)

参加費：3,000円

定 員：200名(事前の申込が必要です)

問合先：別府市観光課(0977-21-1128)または「ONSEN・ガストロミーウォーキングin別府」で検索

【ONSEN・ガストロミーウォーキングinやばけい遊覧】

開催日：5月27日(日)

場 所：本耶馬溪町青の洞門周辺(日本遺産耶馬溪の食や自然、歴史文化が楽しめるコース)

参加費：3,800円

定 員：200名(事前の申込が必要です)

問合先：中津耶馬溪観光協会(0979-64-6565)

または「ONSEN・ガストロミーウォーキングinやばけい遊覧」で検索

温泉コラム第3回 温泉の種類について



世界温泉地サミットの開催に向けて、「世界中でのおんせん県」というテーマで掲載していきます！

「世界中に10種類ある温泉のうちの8種類が大分県にある」という話を聞いたことがあるかもしれませんが、これはあまり正しい言い方ではありません。10種類というのは、日本の環境省が「鉱泉分析法指針」によって、「療養泉」という観点から温泉の泉質を分類したものです。2014年に改訂される前は、大分県には「11種類中10種類ある」ということで自慢したものでした。現在の分類で、大分県にないのは、含よう素泉と放射能泉です。

ところで、温泉の主成分で細かく分類すると、塩類泉の組合せが225通りあり、さらに6つ列挙される特殊成分を組み合わせると一万通り以上になりますが、その大半は地球上に存在しないと思われるから、世界中に何種類あるかというのは誰にもわからないのです。

温泉(鉱泉)の定義は、1911年にドイツのパートナウハイムで行われた温泉関係者の国際会議で採択された「ナウハイム決議」によっており、日本でも、ドイツやフランスで使われている溶存物質の表をほぼ踏襲しています。

温泉の多様性というのは、含まれる成分だけでなく、湧出温度、色、におい、pH、さらには湧出する環境(山中、海辺など)と無限に考えられます。地球上の大分県というこの小さなエリアに、熱源、地下水、水の通路が無数に存在し、隣り合わせた源泉で異なる泉質のお湯が湧いているという状況はやはり奇跡的なのかもしれません。

【大分県庁屈指の温泉名人 直山たかし】



Pick Up! 大分の「今」

県内の出来事（3月）

News

【3月17日(土)】 県内JRダイヤ大幅改正

JR九州は17日、過去最大規模の減便となるダイヤ改正を実施しました。日豊線牧駅は無人化し、遠隔案内システム「スマートサポートステーション」を県内で初めて導入しました。

News

【3月23日(金)】 大分市で桜開花

大分地方気象台は23日、大分市で桜(ソメイヨシノ)が開花したと発表しました。平年より1日早く、昨年より14日早い開花となりました。月末にかけて、県内の桜の名所は花見客で賑わいました。

News

【3月30日(金)】 別府八湯温泉まつり

「別府八湯温泉祭り」が30日に始まりました。初日は、別府市内の温泉を巡る「べっぶぶっフロマラソン」がスタートし、八幡朝見神社では、名物行事「扇山火まつり」の火入れに使う御神火の採火式がありました。

※国際政策課にて新聞等を元に作成

海外大分県人会交流掲示板



中国・北京大分県人会の鈴木昭吾様より、イベント参加のご報告をいただきましたのでご紹介します！

1月20日、北京の日本大使館で第5回日中友好故郷自慢歌合戦が開催されました。毎年この時期に開催されているイベントで、北京在住の各県出身者だけでなく、その県にゆかりのある中国人やいろんな国の人も数多く参加される歌合戦大会です。歌だけでなく、工夫を凝らしたパフォーマンスやコスプレ、紹介される各県の魅力なども毎年の見どころとなっております。今年は44チームが参加して、大使館の大ホールが満席になるほどの盛り上がりでした。

北京大分県人会も毎年この大会に参加しております。今年は昨年を引き続き、歌に合わせて太極拳の演武を披露いたしました。去年は「荒城の月」とのコラボでしたが、今年は中国語圏のスタンダード曲でテレサ・テンの歌声で有名な「月亮代表我的心(邦題:月は何でも知っている)」との組み合わせになりました。一緒に太極拳を学んでいる日本、中国、アメリカと様々な国籍の方々が参加した演武となりました。練習期間は1か月で、その間はずっと太極拳ではなく、歌に合わせた演武の訓練に費やされました。今年の6月に北京を離れ今回が最後の参加になるメンバーもいらっしゃるの、いつも以上に練習にも熱が入っていたと思います。

入賞は叶いませんでしたが、揃いの衣装での演武が写真映えしたのか、日中の複数の新聞電子版やニュースサイトで大分県チームの写真を取り上げていただけました。来年、どのような形での参加になるかはまだ分かりませんが、北京大分県人会ここにありというパフォーマンスを披露できたらと考えております。



From our Reporters

県の国際交流員が、旬なOITA情報をお届けします。



シェリダン・ミキシック
(Sheridan McKisick)

今月、杵築市の「ひいなめぐり」に参加しました。土曜日の早朝に出かけて、杵築城を含む10ヶ所程度に行きました。「ひいなめぐり」は「城下町杵築散策とひいなめぐり」の省略なので、各施設は雛人形だけではなく他の魅力もありました。行った場所の中で一番好きだったのが、一松邸でした。雛人形がきれいだし、直接自然から取り入れた飾りが素敵でした。その上、展示だけでなく邸の見学もありました。この見学を通して一松の広くて気品のある屋敷を見ることができました。



金 眞雅
(Kim Jina)

3月に新しくオープンした九州オルレさいき・大入島コースを歩いてきました。「オルレ」は「通りから家の間まで通じる狭い路地」という済州島の方言で、現在は済州島を代表するトレッキングコースを指しますが、これが九州に伝わって造成されたのが九州オルレです。県内は既に3つのコースがありますが、今回新しくさいき・大入島コースが加わりました。

この日は天気にも恵まれ、とても爽快な気分で歩き始めました。後半はAルートとBルートに分かれますが、イベントの時にBルートを歩きましたので、今回はAルートを歩きました。思っていた通りしんどかったですが、頂上に着いたらきれいな景色が広がっていて登った甲斐がありました。山あり、海あり、自然に触れることのできるコースですので、皆さんもぜひ歩いてみてください！



セーラ・バックレイ
(Sarah Backley)

イギリスでは吹雪が通過しているのと同時に、大分はようやく暖かくなり始めているので、週末の快晴を最大限に生かしたいと思い、県内の春の観光スポットを調べました。

別府市内から車で約40分、日出町の「大神ファーム」を訪問することにしました。正式名称は「ローズガーデンのあるハーブ園大神ファーム」であり、色鮮やかな黄色い菜の花と空気中の蜂蜜の香りたっぷりのとても素敵な場所でした。

ファームには、園内で取れた花やハーブを使った料理が楽しめるカフェもありました。そこで、私達はランチセットの手作りニョッキ、パン、スープとサラダをいただきました。

桜の花が咲く頃には、さらに美しくなると思うので、最も良い訪問時期でしょう。



～編集後記～

新年度に入り、5月には世界温泉地サミットや別府アルゲリッチ音楽祭が開催されます。アルゲリッチ音楽祭は20周年の記念でイタリア・ローマでの公演も予定されています。秋には国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭が大分で開催されますが、ブラジル県人会の65周年記念式典や台湾のフローラ世界博覧会の開催にあわせ、大分からの訪問団も予定しています。今年度も盛りだくさんの情報を皆さんにお届けしたいと思います。

(国際政策課長 徳野 満)

話題提供のお願い!



県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大会関係者に紹介したい話題をお寄せください!
(様式は任意です)

【記事提供/お問い合わせ先】国際政策課 担当:小野
【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp